ニューヨーク植物園所蔵のラテンアメリカ産ヤスデゴケ属標本の中にハイチ島で採集された一新種を見つけた。小アンチル諸島産の *Frullania brevicalycina* Steph. に近いが次の特徴で明らかに区別出来る。1) 花被は4褶で各褶はこぶ状の突起があり，褶曲する。2) 最上部の苞葉（一対）は上・下片共に鈍頭，下片は平らである。3) 最上部の腹包葉は倒卵形で 1/4(-1/3)-2 裂する。4) 葉細胞は薄膜でほぼ直線的，トリゴンは微小または無し。5) スティルス (stylus) は広皮針形，鋭尖で 6-7 細胞幅である。両種共に Trachycolea 亜属，Dilatatae 節に入るが，旧熱帯産の種とは雌雄同種の外にも色々と違う点が見られる。

□神奈川県植物誌調査会（編）：**神奈川県植物誌 1988**　1442 pp. 1988. 神奈川県立博物館（横浜市中区南仲通り 5-60）. ¥11,000（送料込）. 上記の調査会は9年前に発足，県博の大場達之・高橋秀男両氏が主になり，多数の専門家のほかに地域の熱心なアマチュアの参加を得て，総勢180人ほどで進められたという。県の植物誌といえばその県における該種の有無とか簡単な地域別または経度緯度によるメッシュ分けなどが多かったが，今回のは県内の市区町村の境界で区分（大きな地域はさらに細分）して108個のメッシュに分けた。これを地域の住民がそれぞれ分担して調査し，地域内の植物すべての種類について少なくとも1点ずつの標本を作製するのを原則とし，それらの証拠標本（12万点を越えた）は県立博物館・平塚市博物館・横須賀市自然博物館の3ヶ所に分けて保管されている。標本集積と同時にすべての調査データはコンピュータに入れられているので，種類別の分布図も小地域別の植物誌も，その他種々の目的のための整理もす早くできるということである。本書の内容はシダ植物と種子植物の分類順の目録が大部分を占めていて，2438種が載っている。各科から属へ，属から種・変種への検索表，全分類群についての要領のよい記載，分布や生態などの記事，それに上記108メッシュの分布図と部分図を主とした区別点のよくわかる図がついていて，A4判の広いページのどこを開いても溢れるばかりに詰まっている。執筆は27名の専門家が当たり，それぞれ得意の科を担当している。巻頭にサガミジョウロウホトトギスなどカラー写真78個がある。巻末の100ページに総論的な記事があって，約380種について花の咲く時期の表，本県を基準産地とする植物254種の表（内36種の基準標本の写真あり），本県植物関係文献目録1468件，今回の調査で明らかになった新植物（これは未発表）30種の表，新帰化植物（新称命名）35種の表などがあり，中でも本県植物研究史は興味深い記事である。

（伊藤　洋）